



1978年に弁護士登録してから38年が過ぎた。登録時は25歳になったばかりで、社会経験もなく、依頼者に接する態度が下手だったと後に反省した。独立する前は、所属していた事務所の福岡清先生にご迷惑をかけたと思う。そこで、若い弁護士諸君の参考になればとの思いで、正確には憶えていないが、数十年前の代理人を辞任した苦い経験を披瀝したい。

①数軒がそれぞれ敷地の一部を道路まで延長させて合せて数m幅の通路の外観として全員が利用していたところ、内1軒が違法建築をしようとしたため、隣地所有者の代理人となった。依頼者は交渉がうまく進まないことに業を煮やしたのか、道路内の自分の所有地上に杭を打って工事車輛の通行を妨害した。私は自力救済になるので直ちにやめるように強く依頼者に話していたが、ある時依頼者の妻から「先生は相手方とお茶を飲んでいただけの方が楽しいんでしょう」と言われ、自尊心が強かった私は、依頼者が一方的に悪いと考えて辞任した。

②遺産分割調停事件の相続人の代理人として、調停を何回も行い、その間依頼者と何度も打合せする中で、法定相続割合と遺産に対する利害からみて依頼者が取得する遺

産について協議してきた。調停内容も詰まってきたころ調停委員からの指示で、当事者間で合意された内容を調停条項案として提出したところ、私には一報もないまま、依頼



山崎 雅彦 (30期)


●Masahiko Yamazaki

者は家裁に私が提出した調停条項案に従うつもりはないとの電話をした。そこから信頼関係が回復できないまま辞任するに至った。

①は、自力救済を抑止する言い方として、自力救済として許されるのは判例上特別な緊急性と合理性が必要であること、違法な自力救済と判断されると権利を持っていても結果として相手を利することになり依頼者本人のためにならないことを冷静に理を尽くして伝えるべきだったが、私自身、感情が先に立ったまま辞任に至ってしまった。②に

ついては、弁護士としての公正さから法定相続分を大きく超える分割希望はだせないと考えて依頼者との協議の中で説得できたと考えていたが、依頼者の納得が得られていなかったことが分かった。依頼者からすれば、強引な説得と感じたであろうし、確かに私も法定相続分を考えずに分割希望する依頼者に対して、受け入れられない要求となるから要求を維持するなら辞任すると言って辞任を武器に分割案を呑ませようとした態度があったように思う。本来は依頼者が決定することであり、代理人は有利不利を伝えて依頼者の選択に資する情報を伝えるに留めるべきだったと思うが、自分なりの正義感から結論まで仕切りたいという気持ちと、裁判所に対していい格好したいという身持ちが優先してしまったのではないかと相当時間が経ってから反省した。

辞任に至った事件はこの2件だけだが、何年経っても頭から離れない経験であり、依頼者に対する報告と十分な協議の必要性の当たり前さを頭に入れさせてくれた。

様々な業務のストレスを紛らわすため、休みの日は横浜を歩き廻ることと、小さく分割した農地を借りて農作業に精を出すこの頃である。 

Hanamizuki

花水木

16



私は、数年前から趣味でランニング（マラソン）をしています。何のテーマで書いてもよいとのことですので、これからこのランニングについてご紹介したいと思います。

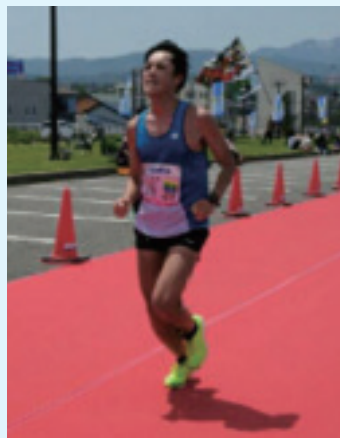
普段は、平日は夜中まで仕事があるため、走るのは週末が多いです。都内では、いろいろなところで練習会が開催されていて、これに参加したり、一人で走ったりしています。場所は、皇居、赤坂御所、大井埠頭などが主です。

また、近場で大会に出たりもします。観光も兼ねて地方へ遠征し、1泊して大会に参加するときもあります。最近ではどの大会もいろいろと工夫を凝らしていて、応援や景色が素晴らしかったり、参加賞が魅力的だったりそれぞれ特色があります。地方や海外へ出張するときは、ランニングシューズ等を持参し、その土地の景色を見ながらゆっくり走ったりもします。

なぜ走るかというと、ランニングはとてもよい気分転換となるからです。弁護士業をしていると公私ともに仕事一色となりがちですが、ランニングをすると頭が一旦仕事から離れて気分がリフレッシュします。また、ランニングを始めてから体力も付いたことを実感していますし、体重も5kg以上減っています。

数年前からは、ランニングチームに所属して、一緒に練習をしたり、大会に出たり、合宿をしたりしています。

ランニングは孤独なスポーツと思われがちですが、実際



阿部 克臣 (62期)

●Katsuomi Abe

にはとてもたくさんの友達（ラン友）ができます。同じ大会に出た、一緒に練習したというだけでなぜか心が通じ合えるのが、ランニングの不思議な魅力です。私のラン友は、職業や年齢も走力も皆バラバラです。フルマラソンで2時間半を切るタイムで走る人もいますし、ファンランナー（楽しみながら走る人）もいます。

現在、私のFacebook上の友達は半数以上がランニング関係者なので、週末はランニング関係の投稿（練習やレースの報告、大会情報等）でタ

イムラインが埋め尽くされるような状況です。

私自身の現在の目標は、フルマラソンでの「サブスリー」達成です。「サブスリー」とはフルマラソンで3時間を切ることで、市民ランナーでは3%程度しか達成していないとされています。

私は、昨年4月の長野マラソンで、何度目かの「サブスリー」挑戦をしました。しかし、ゴールのまさに目の前で足が攣ってしまい、グロス（公式）タイムで3時間00分18秒で「サブスリー」達成ならず、悔しい思いをしました（なお、実測タイムでは2時間59分43秒でした）。

リベンジを期した昨年11月の金沢マラソンでは、事前の調整ミスから体が動かず、32kmで失速してしまい、3時間7分に終わってしまいました。今年4月の長野マラソンでまた挑戦しますが、最低限、「サブスリー」を達成して、できれば2時間55分を切りたいと思っています。

ランニングは、自分の好きな時に気軽にできますので、弁護士業をしながらでも比較的取り組みやすいと思います。是非、多くの方にランニングの素晴らしさを知って、走り始めてほしいと思います。

■